

経済的なインセンティブがあればもっと進む！

「こうなれば、温暖化への取り組みがもっと進むのに！」アンケート調査結果を発表

平成20年5月20日
有限会社イズ

有限会社イズ（本社：東京都世田谷区、代表取締役：枝廣淳子）は、本日、「こうなれば、温暖化への取り組みがもっと進むのに！」アンケート調査結果を発表しました。本調査は、イズ代表枝廣淳子発行の環境メールマガジンにて呼びかけたインターネット調査(以下、メルマガ調査)と、同様の設問にて一般(無差別抽出)を対象に行ったインターネット調査(以下、一般調査)、2つの結果を解析したものです。

温暖化への関心度や温暖化防止への取り組み度は、両調査回答者ともに高く、近年の温暖化への関心の高さを反映し、それがある程度の行動に結びついていることが分かりました。関心度は、「とても関心がある」「まあまあ関心がある」を合わせた“関心がある”人が、メルマガ調査では100%、一般調査では88%、取り組み度は、「できる限り取り組んでいる」「無理の無い範囲で取り組んでいる」を合わせた“取り組んでいる”人が、メルマガ調査では93%、一般調査では81%でした。

エネルギー消費量を削減するための取り組みについては、追加的費用を伴わないものは、42～92%と多くの人が実行していることが分かりました。「これから取り組みたいこと」については、両調査とも自動車・家電の買い替えという答えが多く見られました。なお、「もっと取り組むために」「まわりの人に行動を勧めるために」「日本中の人に取り組むようになるために」必要なこととしては、意識改革に加え、メルマガ調査では環境税や何らかの経済的インセンティブを持たせる政策が重要との答えが多く見られました。

一方、自然エネルギーの利用を増やすための取り組みは、設備の高価さから、実施率は大変低いものであることが分かりました¹⁾。市民風車やファンド、グリーン電力証書・基金など、自ら設備導入をすることなく自然エネルギー増加に貢献できる方法については、メルマガ調査では若干名が参加²⁾しているものの、一般調査回答者の間には浸透していないことも判明しました（「マンションなので何もできない」との答えが多数）。「これから取り組みたいこと」については、両調査とも太陽光発電の設置が最も多い回答でした。なお、「もっと取り組むために」「まわりの人に行動を勧めるために」「日本中の人に取り組むようになるために」必要なこととしては、両調査共通して、政府による補助金の重要性が上位に挙がりました。加えて、メルマガ調査では、設置することが得になる仕組み、経済的インセンティブが重視されており、一般調査では太陽光発電設備が安くなることが重要と多くの人が答えました。

本格的な温暖化防止に向けて、国民の多くは何らかの努力をしようと考え、実行していることが分かりました。一方で、自然エネルギーの導入などコストの高い対策については、取り組みたくても取り組めず、また情報も十分に行き届いていない現実が浮かび上がってきました。省エネルギーを進めるには環境税などの経済的インセンティブを強める政策が、自然エネルギー導入促進には設備価格の高さを補助し普及軌道に乗せるための補助金や経済的インセンティブの仕組みが重要と考えている人が多いことも分かりました。

本報告書はイズの主宰する「日刊温暖化新聞」ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://daily-ondanka.com/>

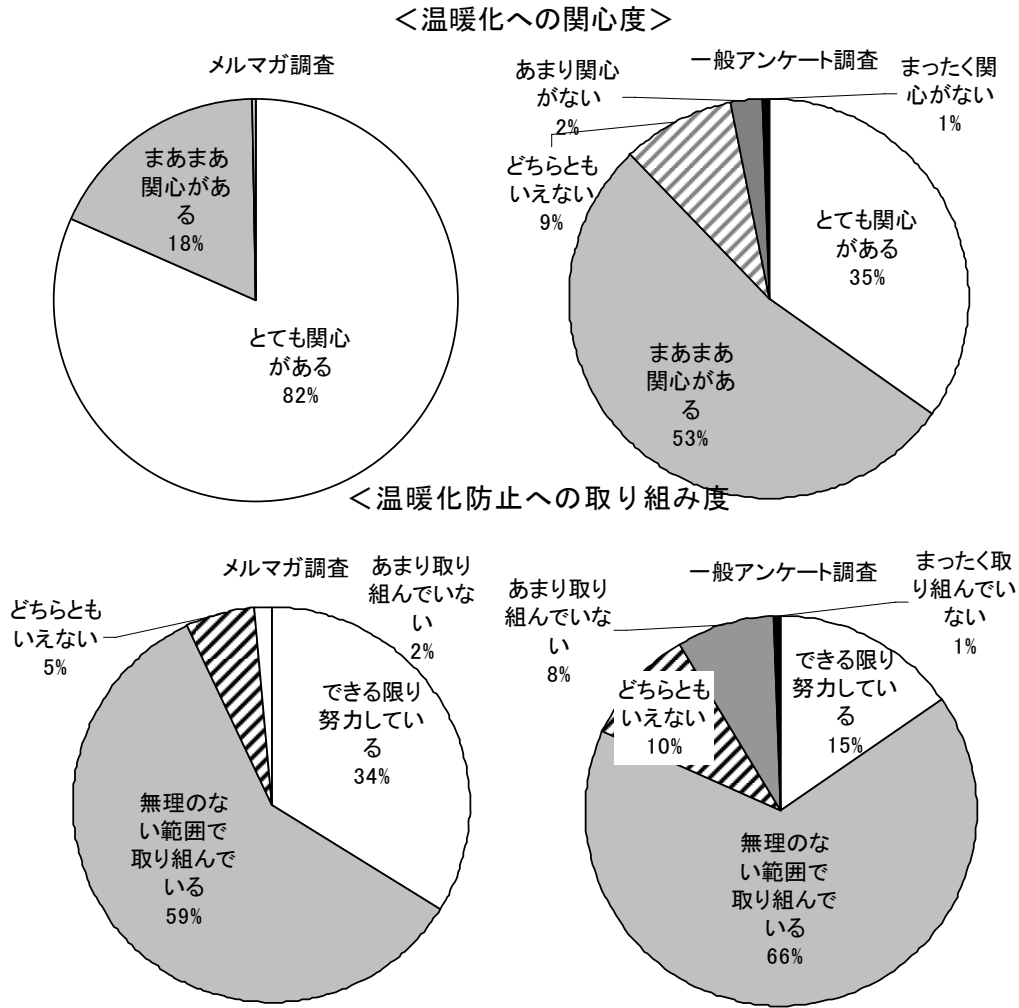
以上

【お問い合わせ先】

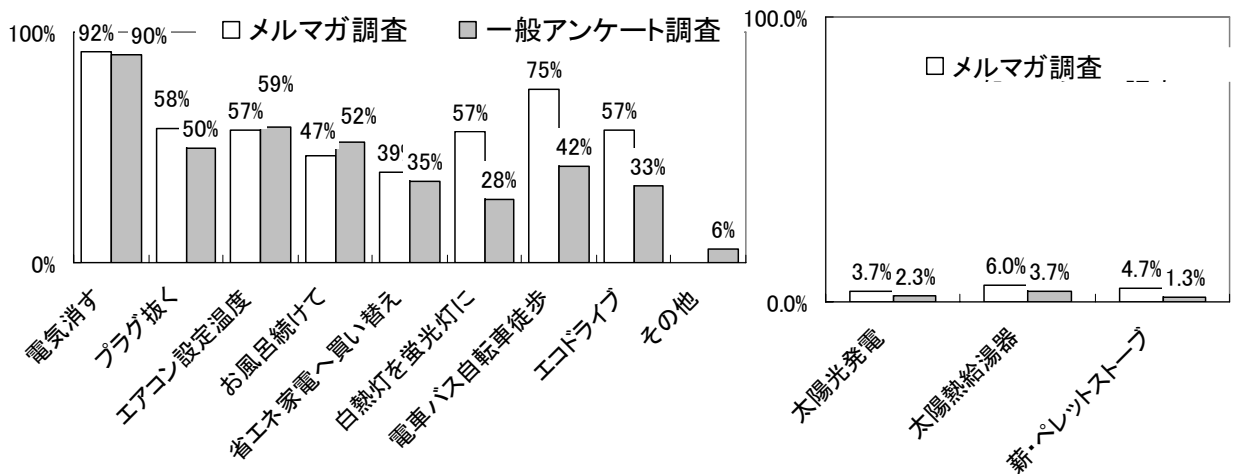
有限会社イズ 東京都世田谷区船橋 1-11-12 産興ビル 3F

Tel:03-5426-1128 E-Mail : info@es-inc.jp 担当：飯田

別表1 温暖化への関心度・温暖化防止への取り組み度



別表2 「エネルギー消費削減のためにやっていること」「自然エネルギー利用増加のためにやっていること」



別表3 調査概要

	メルマガ調査	一般調査
有効回答数	465	300
回答者	Enviro-News from Junko Edahiro 読者	調査会社ハー・ストーリィによる無差別抽出の回答者
方法	インターネット調査	インターネット調査

別表 4 自由回答形式の解析結果要約

エネルギー消費量の削減

質問4 選択肢以外にやっていること

メルマガ調査(回答186)	一般アンケート調査(回答18)
<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン/自動車を持たない使わない。 ・エコバッグを使う、持参する。 ・風呂の水を洗濯などに使う。 ・ゴミを堆肥化する、減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンを使わない。

質問5 これから取り組みたいこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・自動車・家電の買い替え。 ・自然エネルギーの利用。 ・様々な消費を削減。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの削減。 ・自動車の利用を控える。 ・家電買い替え。 ・電気の節約。

質問6 もっと取り組むために必要なこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・政府による補助金や環境税。 ・意識改革。 ・自然エネの導入が進む仕組み。 ・情報。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識改革。 ・様々な消費量の削減。 ・自動車や石油を使わない。 ・家族が協力。

質問7 まわりの人に行動を勧めるのに必要なこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・自分がまず行動すること。 ・正しい情報を伝える。 ・楽しい、かっこいいというイメージ。 ・行動に経済的メリットがあること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がまず行動、実践。 ・意識改革。

質問8 日本中の人に取り組むようになるために必要なこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・環境税。 ・政府による政策。 ・経済的インセンティブを与える仕組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識改革。 ・危機感を持たせる。 ・便利な生活の見直し。

自然エネルギー利用の増加

質問10 選択肢以外にやっていること

メルマガ調査(回答186)	一般アンケート調査(回答18)
<ul style="list-style-type: none"> ・市民風車やファンドへの出資、投資。 ・OMソーラーの導入。 ・グリーン電力証書の購入や基金への加入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし、やっていないが大多数。 ・エコキュートを自然エネルギーとしている回答者が2名。

質問11 これから取り組みたいこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の設置。 ・太陽熱温水器、風力発電の設置。 ・グリーン電力の購入。 ・ファンドや市民風車等への出資。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の設置。 ・風力発電、太陽熱温水器、ペレットストーブの設置。

質問12 もっと取り組むために必要なこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・政府による設備設置への補助金や政策。 ・情報。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政府による補助金や援助。 ・太陽光などの設備が安くなること。

質問13 まわりの人に行動を勧めるのに必要なこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が行動し、伝える。 ・具体的に正しい情報を提供。 ・設置への経済的メリット、得になる仕組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宣伝。 ・情報。 ・太陽光発電設備が安くなること。 ・政府が補助金を出すこと。

質問14 日本中の人に取り組むようになるために必要なこと

メルマガ調査(回答238)	一般アンケート調査(回答300)
<ul style="list-style-type: none"> ・政府による補助金などの政策。 ・得になる仕組み。 ・設置義務化。 ・環境教育。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政府による補助金などの政策。 ・意識改革。 ・情報。 ・太陽光発電設備が安くなること。

i 「電気をこまめに消す」「電源プラグをコンセントから抜く」「エアコンの設定温度を夏は28℃、冬は20℃にする」「お風呂は家族続けて入るようにする」「できるだけ電車やバス、自転車、徒歩で移動する」

ii 太陽光発電がメルマガ調査3.7%、一般調査2.3%、太陽熱給湯器がメルマガ調査6.0%、一般調査3.7%、薪・ペレットストーブがメルマガ調査4.7%、一般調査1.3%。

iii グリーン電力証書8名、市民風車5名、自然エネルギーファンド4名、グリーン電力基金3名。